

官邸前抗議 400回

「原発ゼロ」訴え続ける

反原連

首都圏反原発連合(反原連)は26日、休止前最後の首相官邸前抗議を行いました。2012年3月29日に始まった抗議はこの日で400回目。ひととき大きなドラムの音、参加者の「原発やめろ」「再稼働反対」「すべての原発、今すぐ廃炉」のコールが首相官邸と国会を包み込みました。

れす声をあげていきます」と述べました。

にあたりステートメント「脱原発」を求める人々(宙明)を発表し、「エネルギー政策が原発ゼロに転換するまで解散はしない」と表明。「脱原発の圧倒的な国民世論は変わっていない」と待たれるのは原発ゼロの政治決断だけ」と強調

野保史の面衆院議員、吉良と野党で政権を代えるときです。ともに力を合わせましょ」と訴えま

参加。箕井氏は、9年間、400回の抗議が国と電力会社を追い詰めていると強調。原発ゼロへ「市民と野党で政権を代える」と

スピーチした、福島県海第2原発再稼働に反対する女性らは「反原連は休止し、2年ぶりに参加したという千葉県浦安市の女性(仮名)は「自宅に戻れず夫は7年前に亡くなった。何が復興をあげる人がいました。原発のこと、福島のことを忘れず」と語りました。



「すべての原発今すぐ止める」「再稼働反対」とコールする人たち=26日、首相官邸前